



# 東海大学新聞

2019年 9月1日  
(令和元年) 毎月1日発行

発行所  
学校法人東海大学新聞編集委員会  
東京都新宿区西新宿7-4-3 升本ビル7階(〒160-0023)  
電話 03(3227)3722 FAX 03(3227)3701  
湘南分室 0463(79)6172 Eメール shinbun@tokaiedu.co.jp  
振替口座 00190-0-97247 年間購読料3,600円(税・送料)

## 2022年度に向け 全学的な改組改編を構想

### 世界と地域で活躍する人材を育成 社会の信頼と期待に応える

東海大学が建学80周年にあたる2022年4月に向けて、「日本まるごと学び改革実行プロジェクト」と題した全学的な改組改編を構想している。現在のキャンパス構成を見直し、全国5キャンパス8校舎に整備するほか、新学部の新設や学系を再編し、23学部58学科体制とする内容。今後、新設学部の設置申請や再編する学部の設置届出、カリキュラムの確定といった手続きが進められる予定となっている。

【2面に関連記事】

東海大では建学75周年を迎えた17年度を一つの契機として「Quality of Life(人生の質)の向上」

を教育研究の基軸として定めている。その方針のもと、18年度には湘南校舎に文化社会学部と健康学部を開設。加えて大幅なカリキュラム改訂も実施した。

今回の改組改編構想は、75周年を機に学園が100周年に向けて策定した総合戦略である「学園マスタープラン」に基づいた中期目標に則ったもの。建学以来継承してきた文理融合の理念と、一貫教育を基軸とした教育・研究活動の推進を目指すとともに、「世界と地域で活躍する人材」を育成し、「社会や地域の信頼と期待に応える」ことを大きな目標としている。

具体的には、全国各地に点在するキャンパス・校舎の整備が行われる。現在は湘南校舎にある社会科学系学部を都心の高輪校舎と渋谷校舎(現・代々木校舎)に移設すること。情報と社会科学系学部を集積。グローバル化を推進するためのゲートウェイ機能を持った「東京キャンパス」となる。また、現行の湘南校舎と伊勢原校舎は「湘南キャンパス」の2校舎となり、東海大全体のメインキャンパスとしてハブ機能を担うことになる。

また、札幌校舎は「札幌キャンパス」・札幌校舎、清水校舎は「静岡キャンパス」・清水校舎となる。

また、すでに設置されている医学部看護学科にその教育資源が集中されていく計画だ。

となるほか、「九州キャンパス」は熊本校舎に、23年度に農学部の新校舎として開設が予定されている熊本県益城町の阿蘇くまもと空港に近い「臨空校舎」を加えた体制となる計画。湘南と東京の2キャンパスを中核として、札幌・静岡・九州の各キャンパスが機能的に連携することで、学生の教育や研究活動の充実につなげる考えとなっている。

工学系学科の重複を解消短期大学の知見も継承

工学系分野での重複解消をはじめ、昨年度に学生募集の停止が決定している短期大学部と医療技術短期大学の機能の継承などが図られる。2面に学科や定員数の詳細。短期大学の食物栄養学科は海洋学部や健康学部での教育・研究に生かされ、児童教育学科は新設の児童教育学部として湘南校舎に設置申請が行われる予定。医療短大については、すでに設置されている医学部看護学科にその教育資源が集中されていく計画だ。

「ライトパワープロジェクト」のソーラーカーチームが8月27日に、東京都港区のオーストラリア大使館で開かれた2019ブリチストン・ワールド・ソーラー・チャレンジ(BWSC)の国内出場チーム壮行会に出席した。今年10月にオーストラリアで開催されるBWSCに向けて、大会に出場する日本国内のチームにエールを送ることを目的に開かれたもの。BWSCは太陽光を動力源として約3000キロを走破

する世界最高峰のソーラーカーレースで、同チームは2009年と11年に優勝。17年の前回大会では4位に入っている。

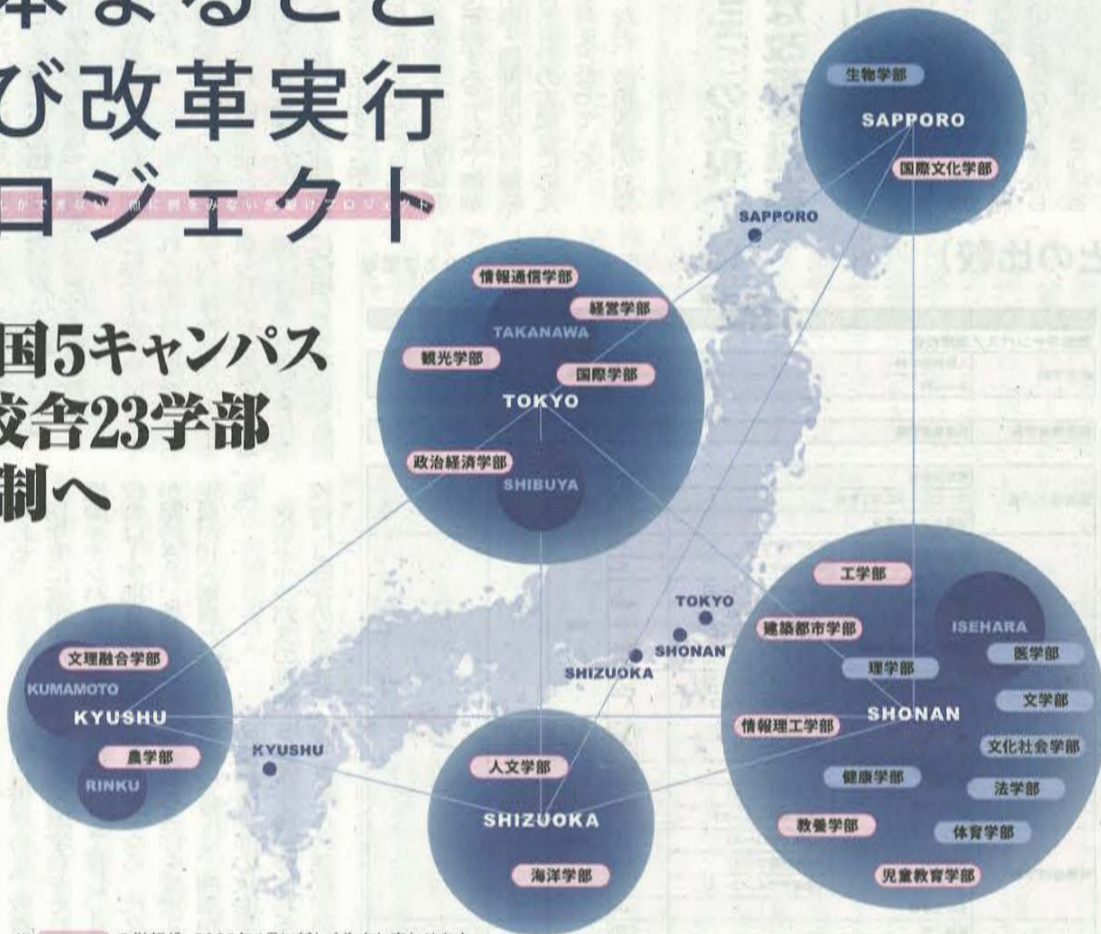
当日はエントリーしている真珠高校、名古屋工業大学、工学院大学とともに同チームのメンバーも出席。駐日オーストラリア大使のリチャード・コート閣下や駐日オーストラリア大使館商務部コミッショナーのサリー・ダウソン氏、(株)ブリチストン代表取締役CEO兼取締役会長の津谷正明氏らから激励を受けた。

プロジェクトリーダーの武藤創さん(工学部4年)は、「大会に向けて新型マシンも完成に向かっており、この3大会はオランダのチームが強く、後塵を拝してきたが、今大会も全力で臨み、1秒でも早くゴールにたどり着きたい」と意気込んでいた。

なお、同チームは9月3日に湘南校舎で報道陣などに向けた「2019 BWSC参戦体制発表会」を開き、完成した新型マシンを披露する予定となっている。

## Think Ahead, Act for Humanity 日本まるごと 学び改革実行 プロジェクト

### 全国5キャンパス 8校舎23学部 体制へ



※ の学部が、2022年4月に新しく生まれ変わります。

具体的には、全国各地に点在するキャンパス・校舎の整備が行われる。現在は湘南校舎にある社会科学系学部を都心の高輪校舎と渋谷校舎(現・代々木校舎)に移設すること。情報と社会科学系学部を集積。グローバル化を推進するためのゲートウェイ機能を持った「東京キャンパス」となる。また、現行の湘南校舎と伊勢原校舎は「湘南キャンパス」の2校舎となり、東海大全体のメインキャンパスとしてハブ機能を担うことになる。

また、札幌校舎は「札幌キャンパス」・札幌校舎、清水校舎は「静岡キャンパス」・清水校舎となる。

また、すでに設置されている医学部看護学科にその教育資源が集中されていく計画だ。

となるほか、「九州キャンパス」は熊本校舎に、23年度に農学部の新校舎として開設が予定されている熊本県益城町の阿蘇くまもと空港に近い「臨空校舎」を加えた体制となる計画。湘南と東京の2キャンパスを中核として、札幌・静岡・九州の各キャンパスが機能的に連携することで、学生の教育や研究活動の充実につなげる考えとなっている。

工学系学科の重複を解消短期大学の知見も継承

工学系分野での重複解消をはじめ、昨年度に学生募集の停止が決定している短期大学部と医療技術短期大学の機能の継承などが図られる。2面に学科や定員数の詳細。短期大学の食物栄養学科は海洋学部や健康学部での教育・研究に生かされ、児童教育学科は新設の児童教育学部として湘南校舎に設置申請が行われる予定。医療短大については、すでに設置されている医学部看護学科にその教育資源が集中されていく計画だ。

「ライトパワープロジェクト」のソーラーカーチームが8月27日に、東京都港区のオーストラリア大使館で開かれた2019ブリチストン・ワールド・ソーラー・チャレンジ(BWSC)の国内出場チーム壮行会に出席した。今年10月にオーストラリアで開催されるBWSCに向けて、大会に出場する日本国内のチームにエールを送ることを目的に開かれたもの。BWSCは太陽光を動力源として約3000キロを走破

する世界最高峰のソーラーカーレースで、同チームは2009年と11年に優勝。17年の前回大会では4位に入っている。

当日はエントリーしている真珠高校、名古屋工業大学、工学院大学とともに同チームのメンバーも出席。駐日オーストラリア大使のリチャード・コート閣下や駐日オーストラリア大使館商務部コミッショナーのサリー・ダウソン氏、(株)ブリチストン代表取締役CEO兼取締役会長の津谷正明氏らから激励を受けた。

プロジェクトリーダーの武藤創さん(工学部4年)は、「大会に向けて新型マシンも完成に向かっており、この3大会はオランダのチームが強く、後塵を拝してきたが、今大会も全力で臨み、1秒でも早くゴールにたどり着きたい」と意気込んでいた。

なお、同チームは9月3日に湘南校舎で報道陣などに向けた「2019 BWSC参戦体制発表会」を開き、完成した新型マシンを披露する予定となっている。

また、すでに設置されている医学部看護学科にその教育資源が集中されていく計画だ。

となるほか、「九州キャンパス」は熊本校舎に、23年度に農学部の新校舎として開設が予定されている熊本県益城町の阿蘇くまもと空港に近い「臨空校舎」を加えた体制となる計画。湘南と東京の2キャンパスを中核として、札幌・静岡・九州の各キャンパスが機能的に連携することで、学生の教育や研究活動の充実につなげる考えとなっている。

工学系学科の重複を解消短期大学の知見も継承

## ライトパワープロジェクト・ソーラーカーチーム BWSCへ向け大使から激励

チャレンジャーセンター「ライトパワープロジェクト」のソーラーカーチームが8月27日に、東京都港区のオーストラリア大使館で開かれた2019ブリチストン・ワールド・ソーラー・チャレンジ(BWSC)の国内出場チーム壮行会に出席した。今年10月にオーストラリアで開催されるBWSCに向けて、大会に出場する日本国内のチームにエールを送ることを目的に開かれたもの。BWSCは太陽光を動力源として約3000キロを走破

する世界最高峰のソーラーカーレースで、同チームは2009年と11年に優勝。17年の前回大会では4位に入っている。

当日はエントリーしている真珠高校、名古屋工業大学、工学院大学とともに同チームのメンバーも出席。駐日オーストラリア大使のリチャード・コート閣下や駐日オーストラリア大使館商務部コミッショナーのサリー・ダウソン氏、(株)ブリチストン代表取締役CEO兼取締役会長の津谷正明氏らから激励を受けた。

プロジェクトリーダーの武藤創さん(工学部4年)は、「大会に向けて新型マシンも完成に向かっており、この3大会はオランダのチームが強く、後塵を拝してきたが、今大会も全力で臨み、1秒でも早くゴールにたどり着きたい」と意気込んでいた。



コート閣下(右から5人目)と津谷氏(同8人目)から大会に向けたエールが送られた

http://tokainewspress.com/

### Topics

研究 産学連携フェアを開催

学生 山田学長が大学院生と対談

付属 学園オリンピック夏季セミナー

学園の付属中高生が姫宍高原研修センターに集い、国語や数学など各部門で才能を磨くセミナーが開催された=9面



### スポーツ 走り幅跳びで日本新記録

### 学生アンケート

改正健康増進法の一部施行などを受け禁煙化の進むキャンパス。東海大生たちはどのように感じているのだろうか?



# 2022年度改組改編構想 社会構造の変化に対応 特色ある教育研究を展開

かつてない社会構造の変化の中で活躍する人材を輩出することを目指す今回の改組改編計画。超少子高齢化やAIの進化、グローバル化などの諸問題に対応するため、各キャンパスで社会と地域のニーズに応じた学部が配され、文系・理系の枠をこえた幅広い知識と理解力を身につけるリベラルエデュケーションが求められる。II学部学科編成や定員数の変更は下表を参照。

メインキャンパスである湘南キャンパス・湘南校舎では、多様なニーズに応えるためにこれまで廃止され人間環境と芸術の2学科体制となり、ナジー効果を引き出したために集約型の学科構成となる。工学系は文理融合を進めた建築都市学部を新設。工学部と合わせて2学部9学科の専攻により、川島・西湘地域の児童教育の新たな教育・研究体制に移行される。情報理工学部には情報メディア学



## 「Think Ahead, Act for Humanity」の実現へ 東海大学にしかできない先駆的な改革を推進

東海大学 山田清志 学長

学校法人東海大学では建学75周年を迎えた2017年度に、学園の100周年に向けた総合戦略である学園マスタープランを策定しました。構想を進めているこのたびの改組改編はこのマスタープランに則ったものです。

建学以来継承してきた文理融合の理念と一貫教育を基軸とした教育・研究活動をさらに推進するためのものであり、来るべき社会の変化に対応し、地球市民として未来を創造していく人材を育成するための教育改革となりま

その基本方針においては、建学100周年を迎える42年の社会ニーズを先

この結果、本学は全国型かつ地域密着型という他に例のない、まさに先駆けとしての存在感を發揮していくこととなるのです。総合大学のスケールメリットを生かして本学が教育研究の基軸として定めた「O10」の向上と、学園がブランドメッセージとして掲げている「Think Ahead, Act for Humanity」を実現するための改革を遂げていきます。

これらの施策は本学が従前に行ってきた改組改編のレベルをこえ、初等中等教育機関との連携も見据えた、かつてない大規模な取り組みとなります。

### 2022年度東海大学改組案(現行との比較)

学部	学科・専攻・課程	入学定員	校舎	定員増減
<b>湘南キャンパス</b>				
観光学部	観光学科	200	湘南	200
政治経済学部	政治学科	160	湘南	560
	経済学科	160		
教養学部	経営学科	160	湘南	250
	国際学科	80		
	人間環境学科	65		
	芸術学科	95		
情報理工学部	情報科学科	100	湘南	200
	コンピュータ応用工学科	100		
工学部	生命化学科	100	湘南	1390
	応用化学科	80		
	光・画像工学科	60		
	原子力工学科	40		
	電気電子工学科	140		
	材料科学科	80		
	建築学科	200		
	土木工学科	120		
	精密工学科	80		
	機械工学科	140		
	動力機械工学科	150		
	航空宇宙学科	90		
	航空機工学専攻	50		
	医用生体工学科	60		
体育学部	体育学科	110	湘南	480
	競技スポーツ学科	140		
	武道学科	60		
	生体スポーツ学科	110		
文学部	370	湘南	1640	
文化社会学部	450			
法学部	300			
健康学部	200			
理学部	320			
<b>伊勢原キャンパス</b>				
医学部	医学科	118	伊勢原	203
	看護学科	85		
<b>高輪キャンパス</b>				
情報通信学部	情報メディア学科	80	高輪	320
	応用ソフトウェア工学科	80		
	経営システム工学科	80		
	通信ネットワーク工学科	80		
<b>清水キャンパス</b>				
海洋学部	海洋文明学科	80	清水	530
	環境社会学科	80		
	海洋地球科学科	80		
	水産学科	120		
	海洋生物学科	90		
	航海工学科	20		
熊本キャンパス	経営学科	150	熊本	370
	観光ビジネス学科	80		
	電気電子情報工学科	80		
	医療福祉工学科	60		
農学部	応用植物科学科	80	熊本	230
	応用動物科学科	80		
	バイオサイエンス学科	70		
<b>札幌キャンパス</b>				
国際文化学部	地域創造学科	110	札幌	400
	国際コミュニケーション学科	80		
	デザイン文化学科	70		
生物学部	生物学科	70		
	海洋生物科学科	70		
現行 定員合計		6773		6773

学部	学科・専攻	入学定員	校舎	定員増減
<b>2022年度</b>				
<b>湘南キャンパス/湘南校舎</b>				
教養学部	人間環境学科	120	湘南	190
	芸術学科	70		
児童教育学部	児童教育学科	150	湘南	150
情報理工学部	情報科学科	100	湘南	300
	コンピュータ応用工学科	100		
	情報メディア学科	100		
工学部	航空宇宙学科	90	湘南	1160
	航空機工学専攻	50		
	機械工学科	140		
	(機械デザインコース)			
	(機械材料コース)			
	機械システム工学科	140		
	(ロボティクスコース)			
	(情報システムコース)			
	電気電子工学科	120		
	(電気電子システムコース)			
理工工学科	80			
(生体工学コース)				
(臨床工学コース)				
生物工学科	100	湘南	1160	
応用化学科	100			
建築都市学部	建築学科	240	湘南	240
	(建築工学コース)			
	(建築計画コース)			
	(地域デザインコース)			
土木工学科	100			
体育学部	体育学科	120	湘南	540
	競技スポーツ学科	170		
	武道学科	60		
	生体スポーツ学科	120		
スポーツ・レジャーマネジメント学科	70			
文学部	370	湘南	1640	変更なし
文化社会学部	450			
法学部	300			
健康学部	200			
理学部	320			
<b>湘南キャンパス/伊勢原校舎</b>				
医学部	医学科	118	伊勢原	213
	看護学科	95		10
<b>東京キャンパス/高輪校舎</b>				
情報通信学部	情報通信学科	240	高輪	670
観光学部	観光学科	200		
経営学部	経営学科	230		
国際学部	国際学科	200		
<b>東京キャンパス/渋谷校舎</b>				
政治経済学部	政治学科	200	渋谷	400
	経済学科	200		
<b>静岡キャンパス</b>				
人文学部	人文学科	180	清水	530
海洋学部	海洋理工学専攻	130		
	(海洋科学コース)			
	(海洋資源開発コース)			
水産学科	航海学専攻	20		
	(生物生産学コース)	120		
	(食品科学コース)	80		
<b>九州キャンパス/熊本校舎</b>				
文壇融合学部	経営学科	130	熊本	300
	(企業経営コース)			
	(スポーツビジネスコース)			
	(アグリビジネスコース)			
地域社会学科	(地域観光コース)	100		
	(心療・広域コース)	70		
人間情報工学科	(情報工学コース)	70		
	(臨床工学コース)			
<b>九州キャンパス/鹿野校舎</b>				
農学部	農学科	80	鹿野	230
	動物科学科	80		
	食生命科学科	70		
<b>札幌キャンパス</b>				
国際文化学部	地域創造学科	110	札幌	340
	国際コミュニケーション学科	80		
生物学部	生物学科	75		-60
	海洋生物科学科	75		
2022年度 定員合計		6863		6863
				+90

改組の対象となる学部等

とされる学部学科はそれぞれ入学定員の増減があるほか、体育学部の入学定員も5学科合計で60人増に改組した文学部や新設校舎には既存の情報通信

定。東京キャンパスの高輪校舎には既存の情報通信

定。これらの学部学科は

1、2年次を湘南で学び、3年次以上が各校舎に学びの場を移して専門教育を受けるとともに研究活動に取り組みることになる。

国際文化学部デザイン文化学科は22年度に募集が停止されるが、札幌校舎の特色を生かした4学科体制となる。

静岡キャンパス・清水校舎は、海洋国家日本を支える人材を育成する海洋学部の学科を再編。理学・工学系分野は海洋理工学科として統合し、水産系分野や海洋生物系分野などは各学科で継承する。また、静岡地域の社会ニーズに対応する文系23年度に完成する臨空校舎に移設。学科名も合わせて変更される。両学部は九州キャンパスとして連携をさらに強化し特色化が図られる計画だ。

九州キャンパスの熊本校舎には、文理分断から脱却を目指す新たな文理融合学部を3学科体制で見直しにより、現行で6773人の定員は全体で6863人となる見通し。

今後の教育研究活動の計画については次号以降で詳細を掲載する。

